



ALCOLOLO

METAXYLEM

ランドリーユニット サイドカウンター

取扱説明書・施工説明書

お施主様保存用

保証書付き

このたびは、サイドカウンターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 施工前、ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、正しく安全に施工、ご使用ください。
- 説明書に記載されていない方法や部品で施工したことによる事故や損害については、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 施工記録表は「工事店名、設置年月日」などの記入をお確かめください。
- この商品は日本国内専用品です。

もくじ

施工説明編

安全上のご注意	2
構成図	3
同梱部品	4
製品寸法図	6
施工手順	
W850カウンター（棚なし）	7
W850カウンター（棚付き）	11
W1670カウンター	14

取扱説明編

安全上のご注意	22
お手入れ	23
製品保証書	裏表紙

施工説明編

本説明書とは異なる方法で作業を行うと、けがや傷・破損につながるおそれがあります。
本書を必読の上、作業を行ってください。

安全上のご注意

施工者の安全と使用者の安全を確保するための注意事項です。
必ずお読みになってから、正しく安全に施工してください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容



注意

傷害や財産損害が発生するおそれがある内容

お守りいただく内容を次の図記号で説明



してはいけない内容



実行しなければならない内容

開梱・保管について



注意



製品を一時保管する場合でも壁などに立て
かけずに平置きする

製品が倒れてけがや破損のおそれがあります。



保管する場合は日陰で保管する

直射日光にあたり変形・変色のおそれがあります。

その他
お願い

- 運輸・輸送時は、投げる・落とす・ぶつけるなど、製品に衝撃を与えないように取扱ってください。傷や破損の原因になります。
- 製品は、梱包状態でも上積みをしてください。傷や破損の原因になります。
- 開梱時に製品の破損や異常がないか確認し、傷つかないように保管してください。

施工について



警告



屋外や過酷な条件（高温・多湿、寒冷、油が多いなど）には設置しない

予期せぬ事故や損害を招くおそれがあります。



注意



本書記載以外の修理・改造・分解はしない

予期せぬ事故や損害を招くおそれがあります。



浴室内部など、頻繁に水分と接する場所
には設置しない

予期せぬ損害を招くおそれがあります。



製品の施工方法については、必ず施工説明書に従う

けがや破損のおそれがあります。

施工後は、本書をお客様にお渡しください。



事故防止のため施工は必ず専門業者がおこなう

落下し、けがや破損のおそれがあります。



製品は専用の固定金具を用いて補強下地
（補強桟木または12mm厚以上の合板）が
ある壁に必ず固定する

予期せぬ事故や損害を招くおそれがあります。



製品はがたつきやたわみが生じない強固な
床に施工する

予期せぬ事故や損害を招くおそれがあります。



インパクトドライバーはねじの締め終わりの手前
で止め、その後は手回しで確実に締めてください
ねじが破損するおそれがあります。

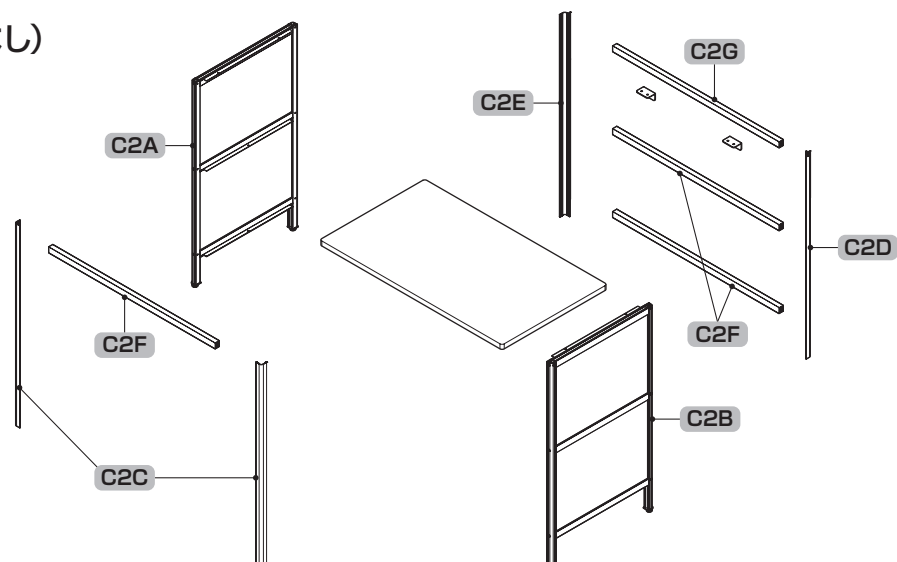
その他
お願い

- 製品の搬入は、建物の床や壁を養生してからおこなってください。
- 製品を切断しての寸法変更や、その他加工を安易にしないでください。
- 製品の一部部品には、施工時に部品の種類を識別するための番号シールが貼付されています。施工完了後、外から見える位置に貼付されているシールは必ずはがしてください。
見栄えが損なわれるおそれがあります。

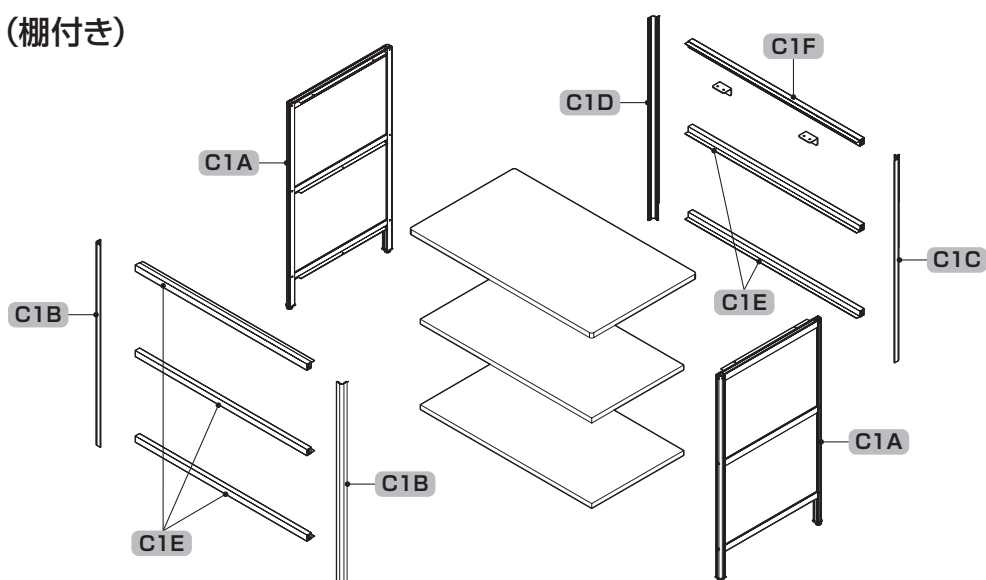
※ 施工完了後、今後の施設安全維持のため、本書の施工記録表に記載の上、施主様にお渡しください。

構成図

W850カウンター（棚なし）



W850カウンター（棚付き）

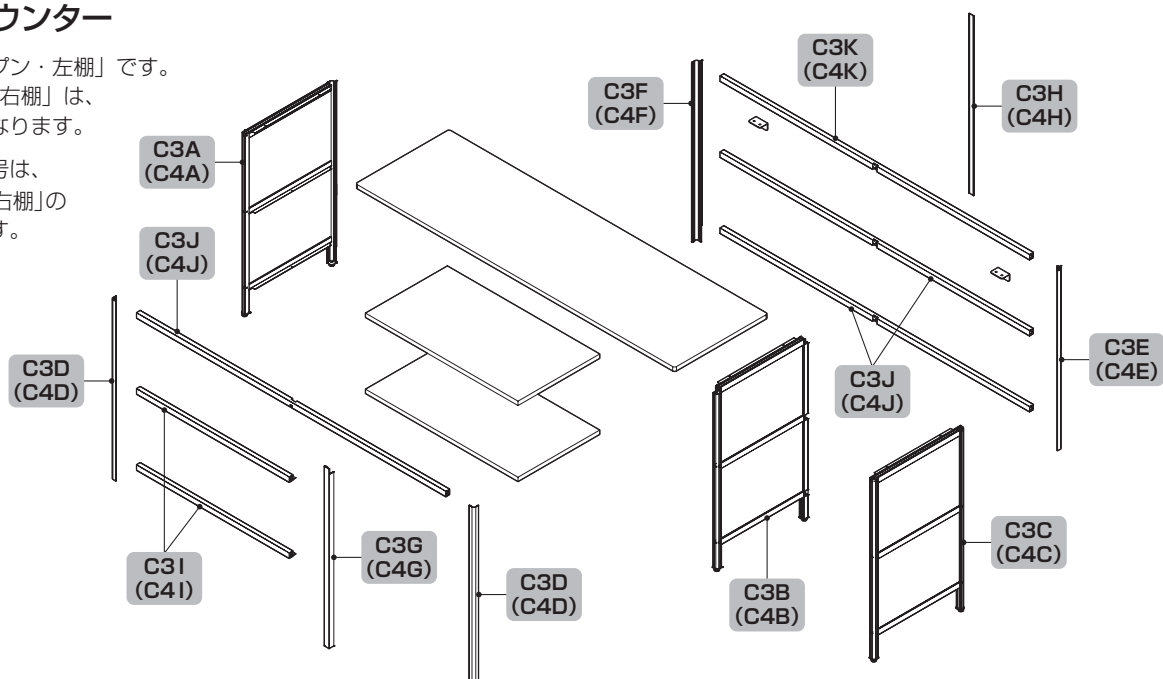


W1670カウンター

※図は「右オープン・左棚」です。

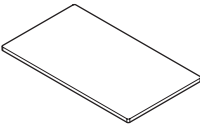
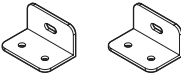
「左オープン・右棚」は、
本図と対称になります。

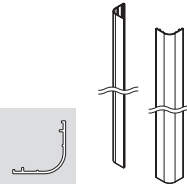
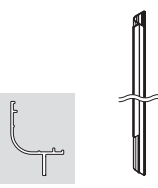
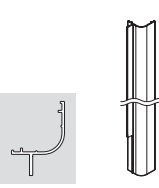
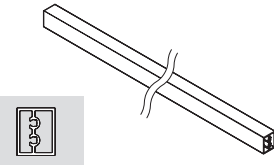
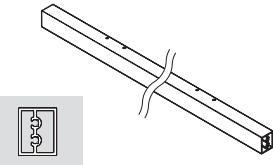
※（ ）内の記号は、
「左オープン・右棚」の
場合を示します。



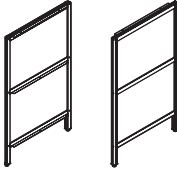
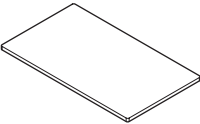
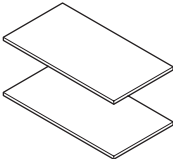
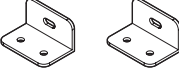
同梱部品

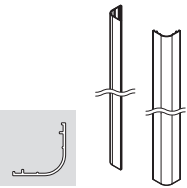
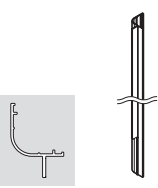
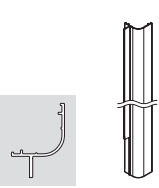
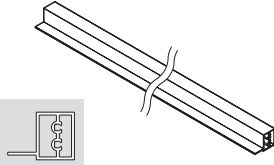
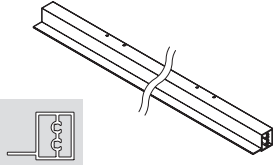
W850カウンター（棚なし）

形状				
名称	側面パネル（左） C2A	側面パネル（右） C2B	天板	固定金具
数量	1枚	1枚	1枚	2個

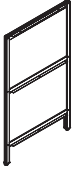
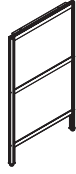
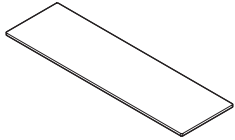
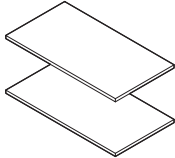
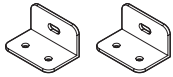
形状					
名称	カバー（正面側） C2C	カバー（壁側）R C2D	カバー（壁側）L C2E	バー材（固定金具用穴なし） C2F	バー材（固定金具用穴あり） C2G
数量	2本	1本	1本	3本	1本

W850カウンター（棚付き）

形状				
名称	側面パネル C1A	天板	棚板	固定金具
数量	2枚	1枚	2枚	2個

形状					
名称	カバー（正面側） C1B	カバー（壁側）R C1C	カバー（壁側）L C1D	バー材（固定金具用穴なし） C1E	バー材（固定金具用穴あり） C1F
数量	2本	1本	1本	5本	1本

W1670カウンター

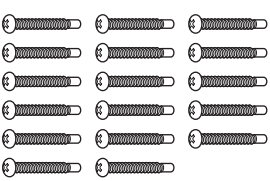
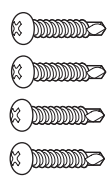
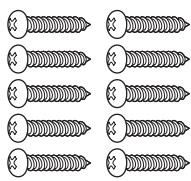
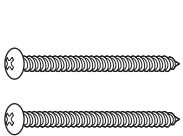
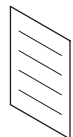
形状						
名称	側面パネル(左) C3A (C4A)	中間パネル C3B (C4B)	側面パネル(右) C3C (C4C)	天板	棚板	固定金具
数量	1枚	1枚	1枚	1枚	2枚	2個

形状					
名称	カバー (正面側) 二隅 C3D (C4D)	カバー (壁側) R C3E (C4E)	カバー (壁側) L C3F (C4F)	カバー (正面側) 中間 C3G (C4G)	カバー (壁側) 中間 C3H (C4H)
数量	2本	1本	1本	1本	1本

形状			
名称	バー材〈短尺〉 C3I (C4I)	バー材〈長尺〉(固定金具用穴なし) C3J (C4J)	バー材〈長尺〉(固定金具用穴あり) C3K (C4K)
数量	2本	3本	1本

() 内の記号は、「左オープン・右棚」の場合を示します。

<共通> W850カウンター (棚なし・棚付き) / W1670カウンター

形状					
名称	バー材取付用ねじ	固定金具取付用ねじ	天板取付用ねじ	本体固定用ねじ	取扱説明書・施工説明書
数量	16本(予備1本)	4本	10本	2本	1冊

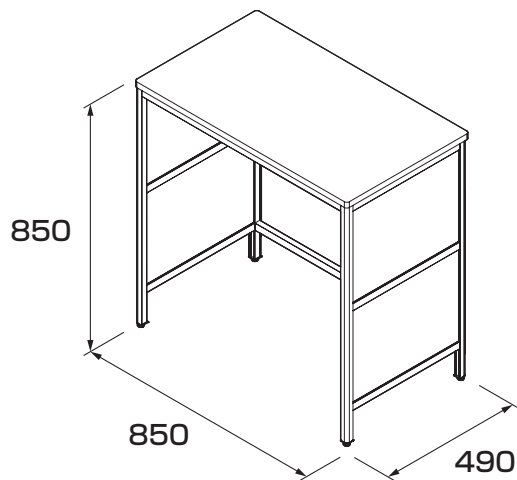
必要な工具 … 水準器、壁裏検査器、インパクトドライバー、(+)ドライバー (2番)、スパナ (10番)

製品寸法図 [寸法単位:mm]

※製品改良のため、仕様、外観は
予告なしに変更する場合があります。

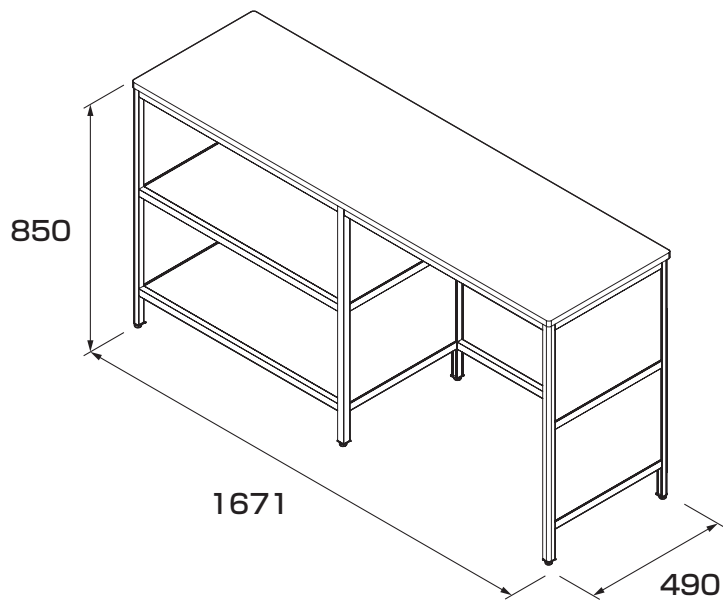
W850カウンター（棚なし・棚付き）

※図は棚なし



W1670カウンター

※図は「右オープン・左棚」です。
「左オープン・右棚」は、
本図と対称になります。



施工手順 [寸法単位:mm]

お願い

- 製品に傷が付かないように、養生シートまたは広げた梱包材の上で作業してください。
- インパクトドライバーはねじの締め終わりの手前で止め、その後は手回しで確実に締めてください。

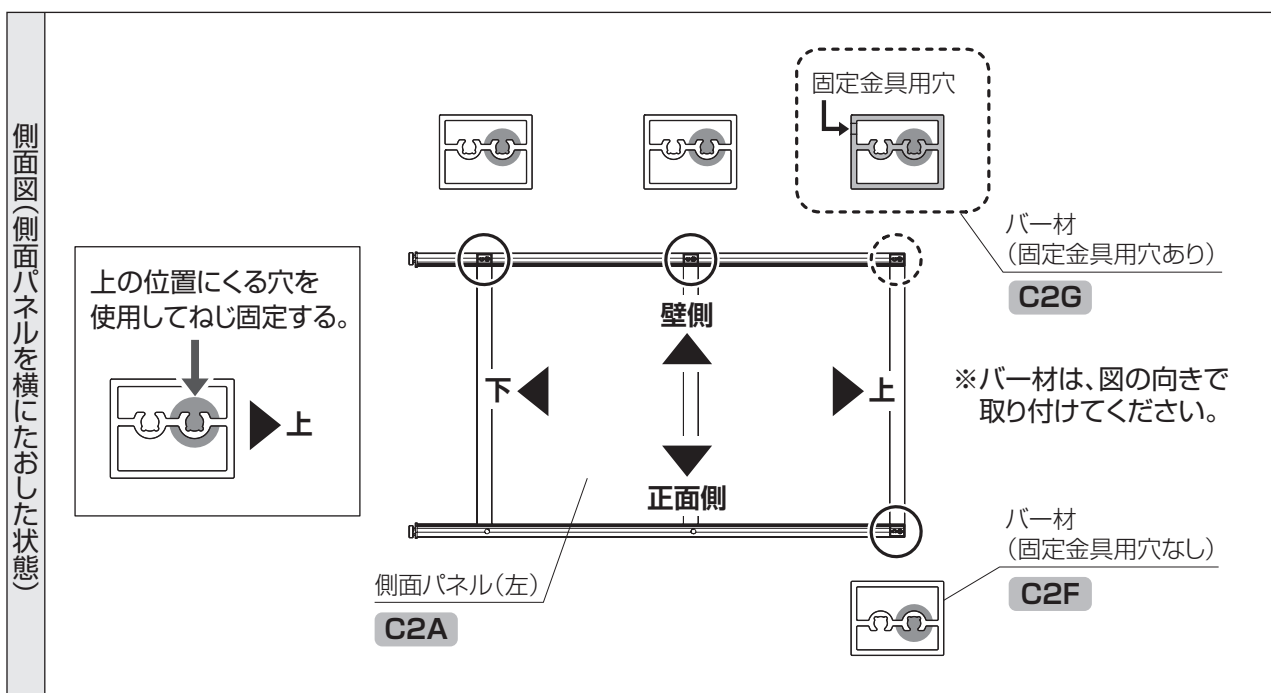
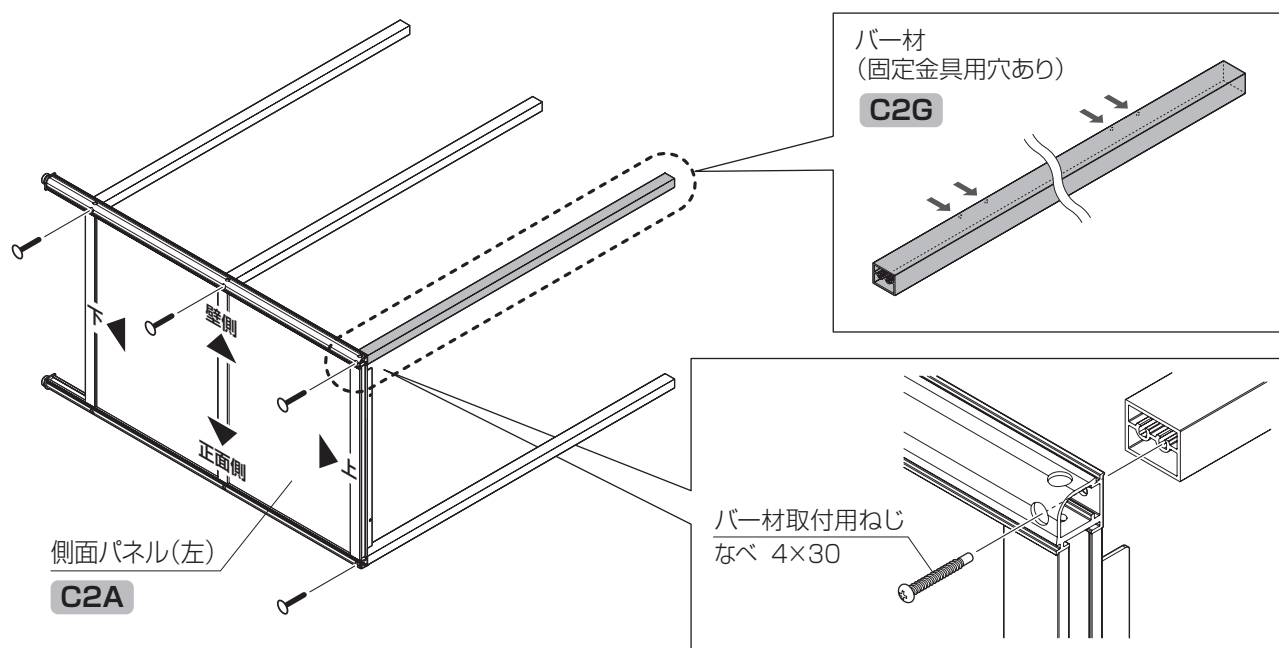
W850カウンター(棚なし)

1 側面パネルとバー材の組み立て

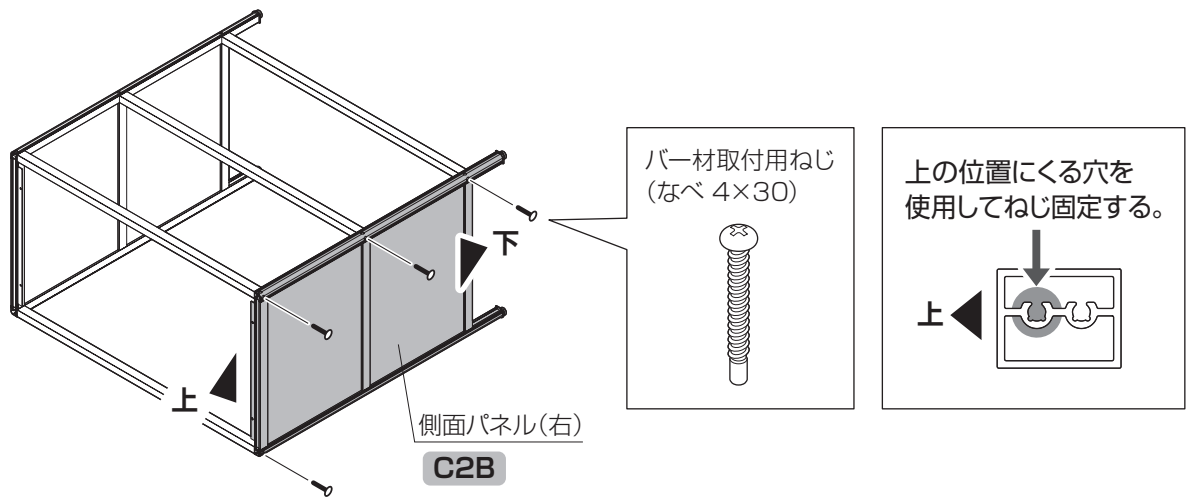
- ① 側面パネル(左) **C2A** にバー材を取り付ける。(4か所)

お願い

- 固定金具用の穴があいているバー材 **C2G** は取り付ける位置が決まっています。下図を参照して取り付けてください。
- バー材には取り付けの向きがあります。下図を参照して取り付けてください。
- バー材には上下2つのねじ穴がありますが、上の位置にくる穴を使用してねじ固定してください。(下図参照)



② 反対側の側面パネル(右) **C2B** をバー材に取り付ける。(4か所)

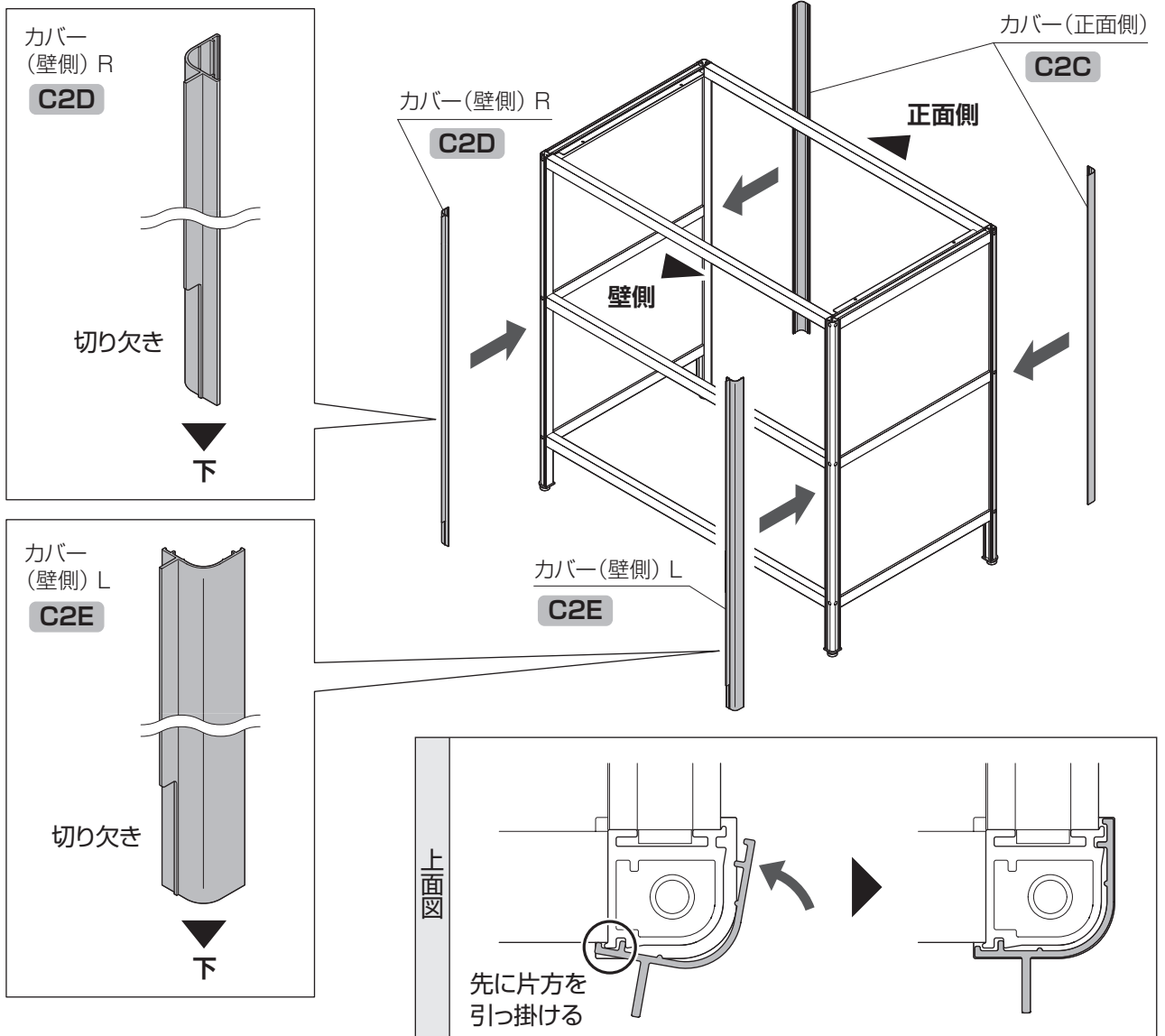


2 カバーの取り付け

① 四隅にカバーを取り付ける。(4か所)

お願い

- 壁側に取り付けるカバーにはL・Rがあります。
- カバー(壁側) L **C2E** ・ カバー(壁側) R **C2D** は、切り欠きのある方を下にして取り付けてください。

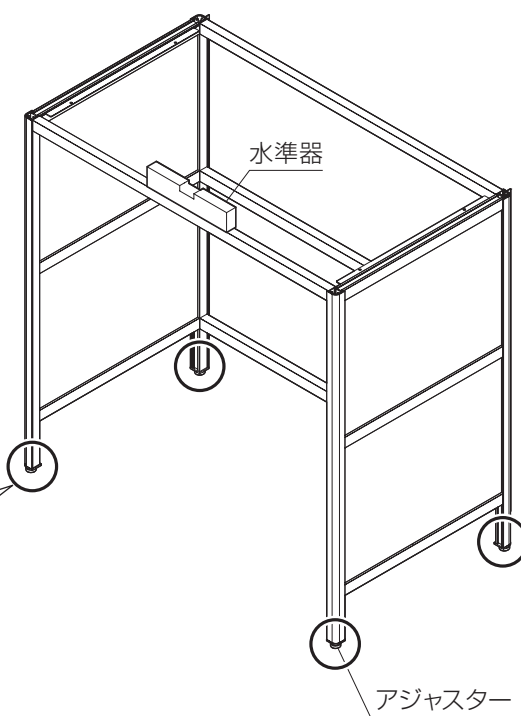
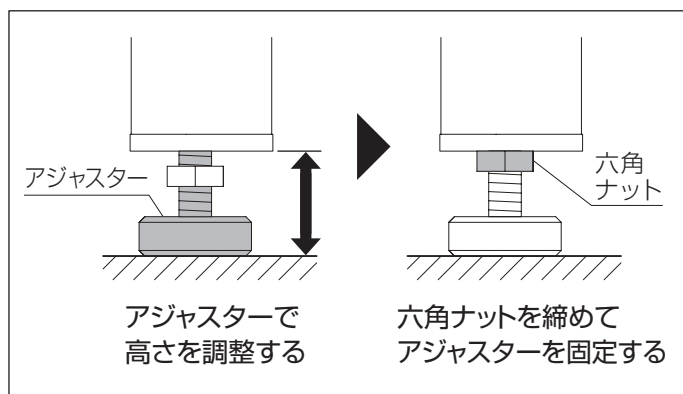


3 アジャスター高さ調整

① アジャスターで高さを調整する。

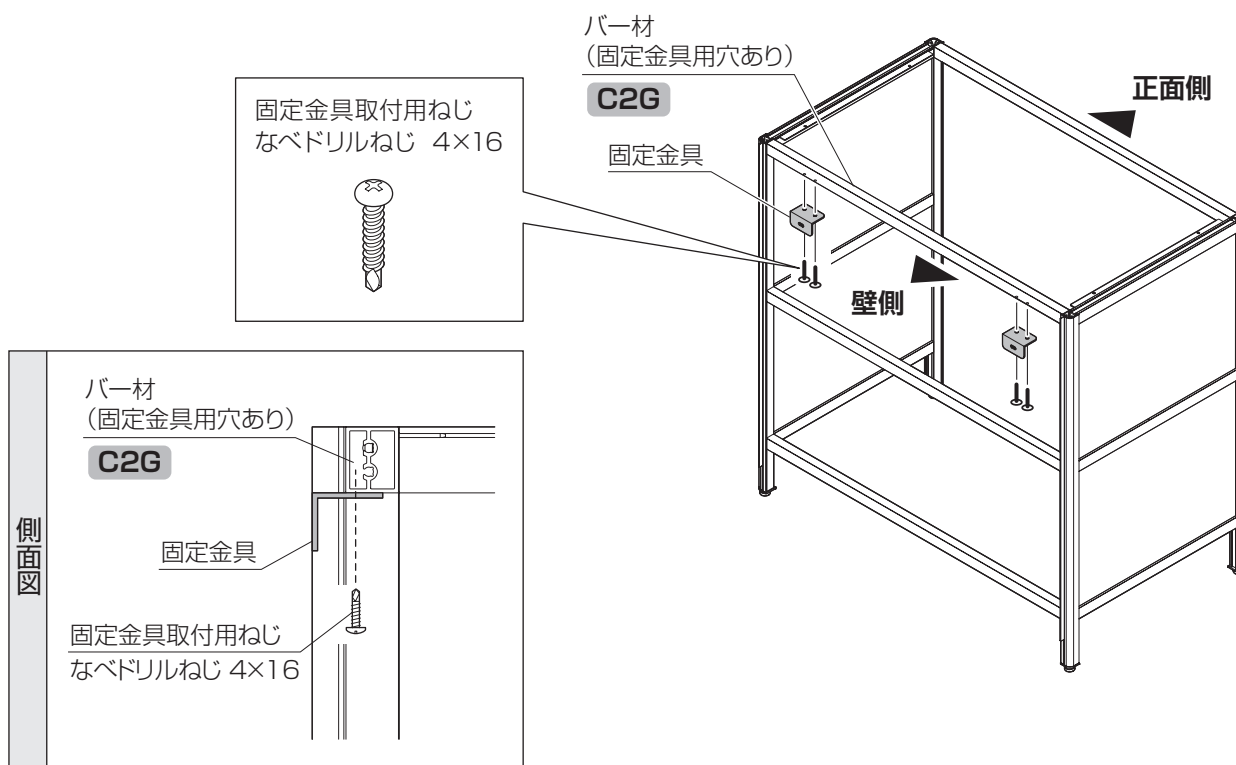
ご注意

- 高さ調整後は、必ず六角ナットを締めてアジャスターを固定してください。



4 固定金具の取り付け

① バー材(固定金具用穴あり) **C2G** に固定金具を取り付ける。(2か所)

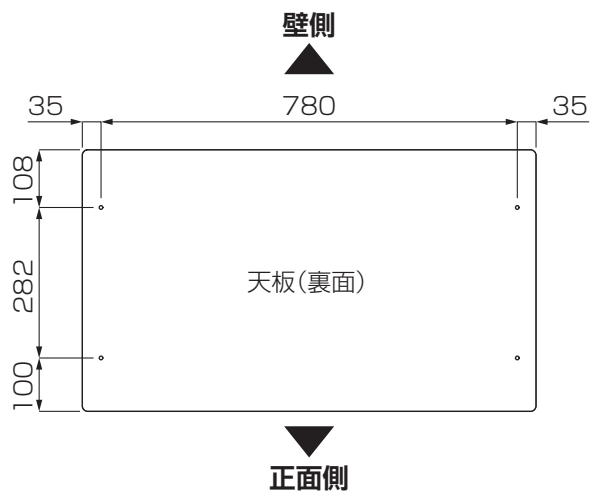


5 天板の取り付け

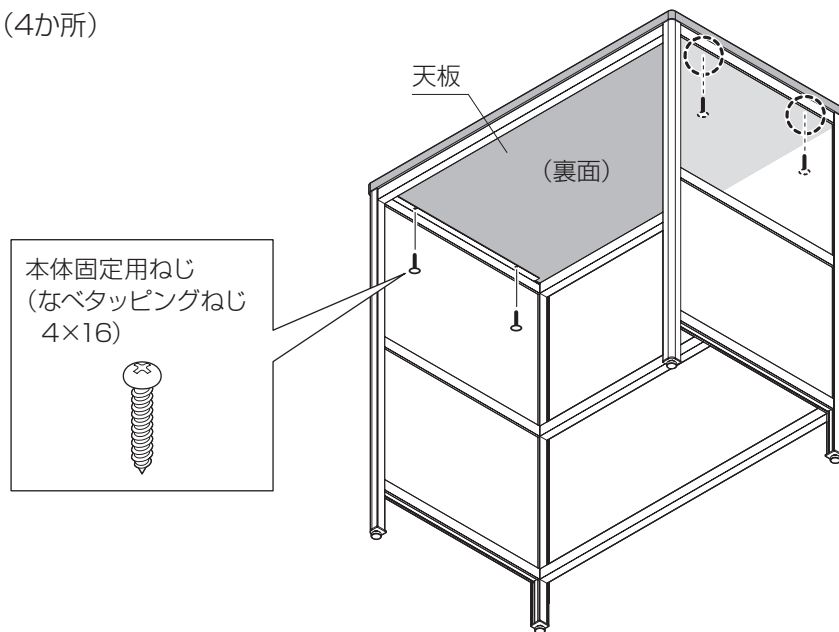
- ① 天板の裏面に下穴をあける。(4か所)
(推奨下穴寸法： $\phi 3.5\text{mm}$)

ご注意

- 天板を貫通させないように注意してください。
(推奨下穴深さ：10mm)



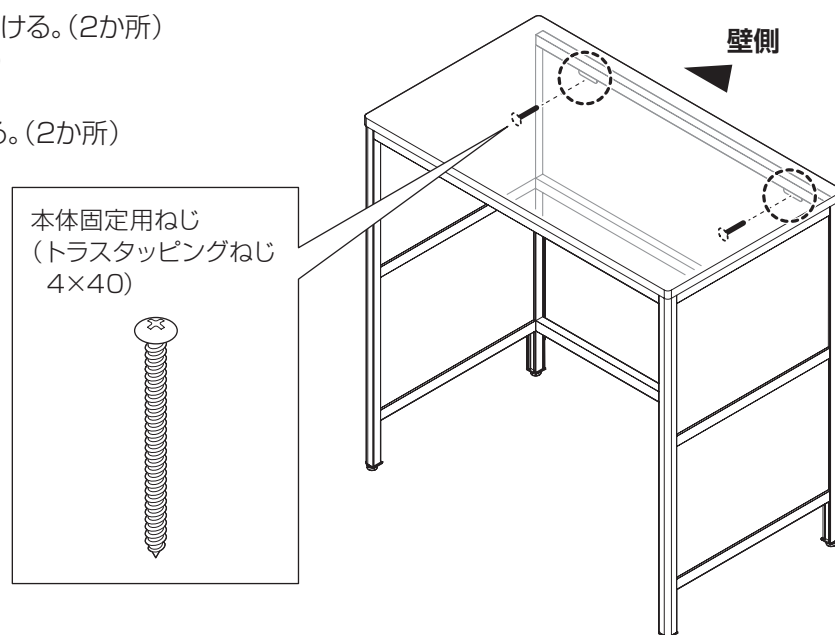
- ② 天板を本体に取り付ける。(4か所)



6 本体固定

- ① 壁面に印をつけ、下穴をあける。(2か所)
(推奨下穴寸法： $\phi 3\text{mm}$)

- ② 本体を壁面にねじ固定する。(2か所)

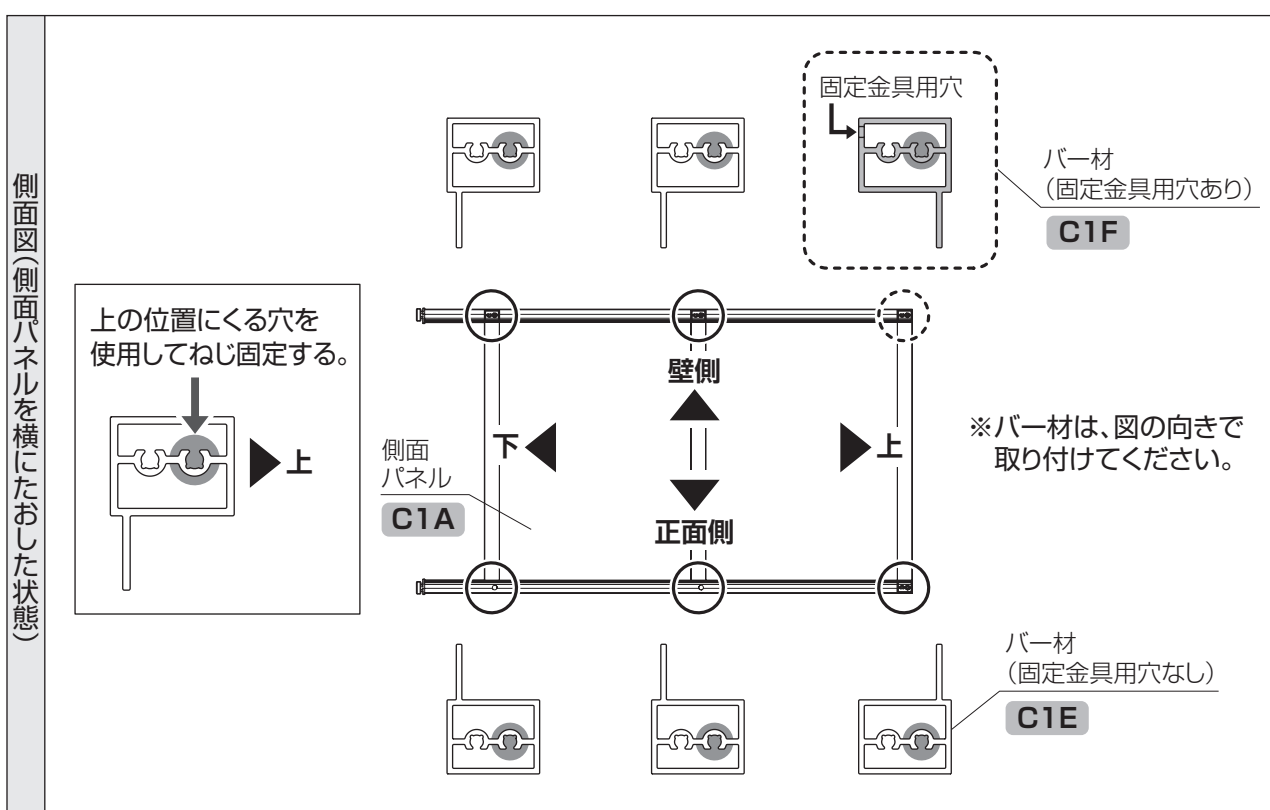
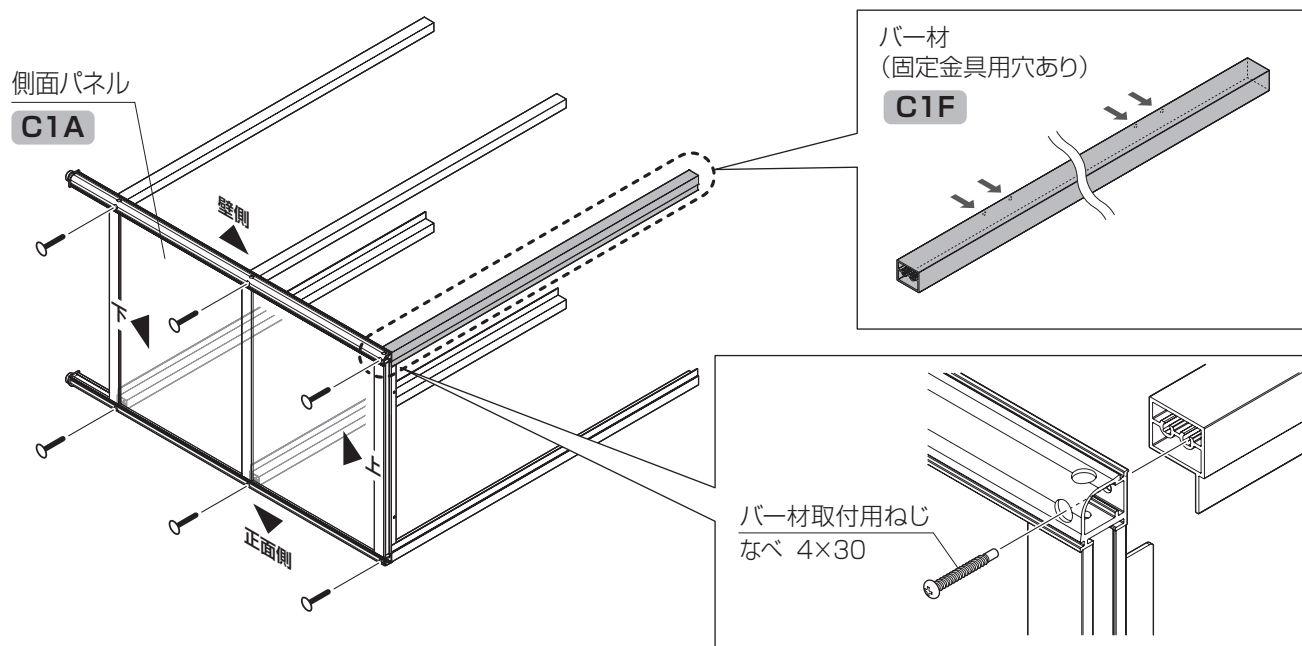


1 側面パネルとバー材の組み立て

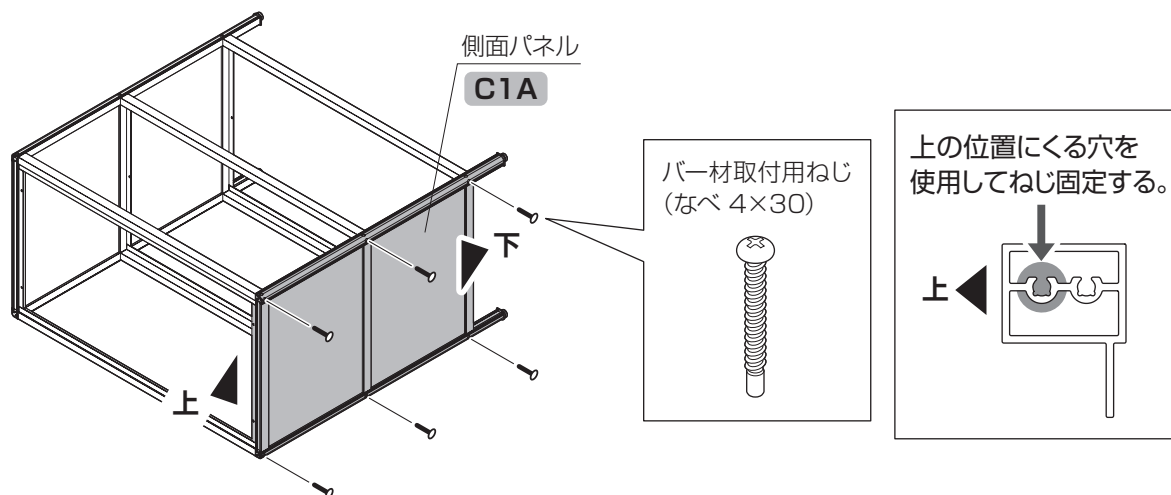
① 側面パネル **C1A** にバー材を取り付ける。(6か所)

お願い

- 固定金具用の穴があいているバー材 **C1F** は取り付ける位置が決まっています。下図を参照して取り付けてください。
- バー材には取り付けの向きがあります。下図を参照して取り付けてください。
- バー材には上下2つのねじ穴がありますが、上の位置にくる穴を使用してねじ固定してください。(下図参照)



② 反対側の側面パネル **C1A** をバー材に取り付ける。(6か所)



2 カバーの取り付け

お願い

- 壁側に取り付けるカバーにはL・Rがあります。
- カバー(壁側)L **C1D**・カバー(壁側)R **C1C** は、切り欠きのある方を下にして取り付けてください。

※ **W850カウンター(棚なし)** の **2 カバーの取り付け** (8ページ)を参照してください。

3 アジャスター高さ調整

※ **W850カウンター(棚なし)** の **3 アジャスター高さ調整** (9ページ)を参照してください。

4 固定金具の取り付け

① バー材(固定金具用穴あり) **C1F** に固定金具を取り付ける。(2か所)

※ **W850カウンター(棚なし)** の **4 固定金具の取り付け** (9ページ)を参照してください。

5 天板の取り付け

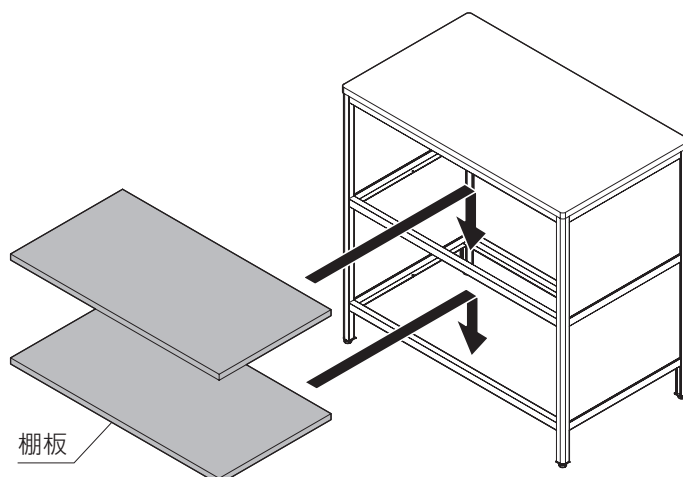
※ **W850カウンター(棚なし)** の **5 天板の取り付け** (10ページ)を参照してください。

6 棚板の取り付け

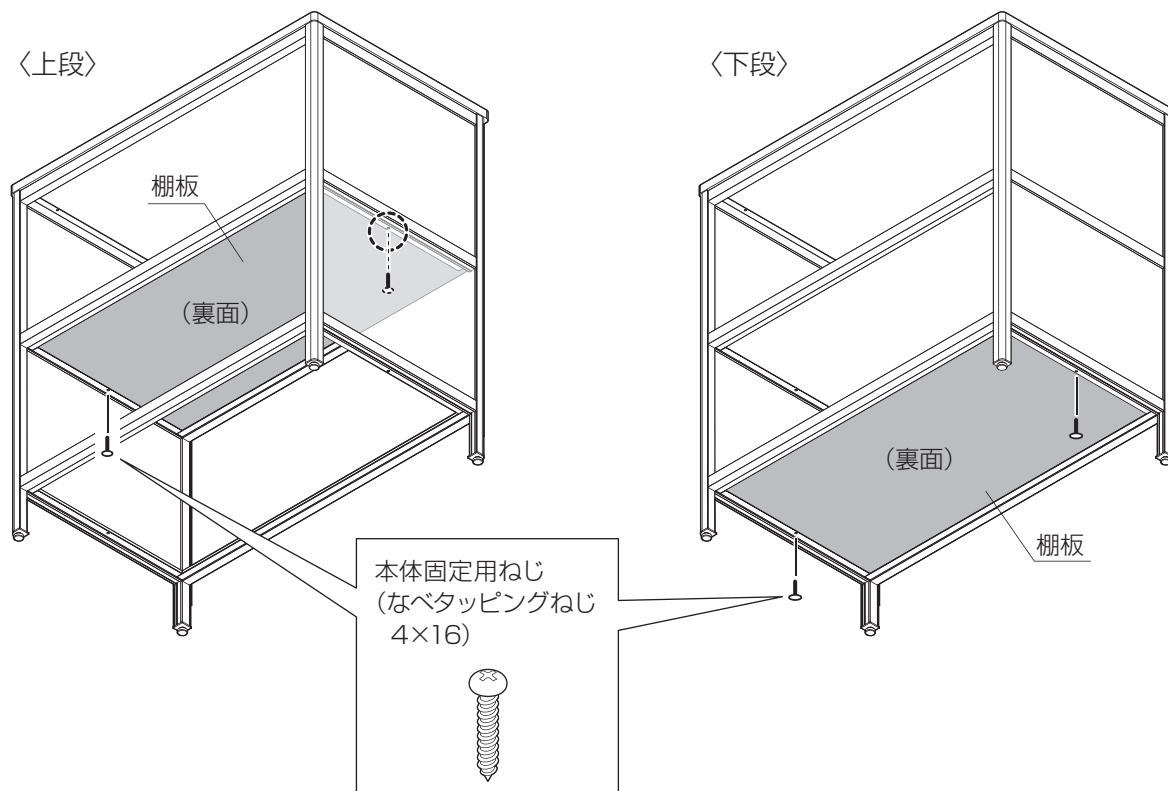
① 棚板をはめ込む。(上段・下段)

ご注意

- 棚板をはめ込む際に、指を挟まないように注意してください。

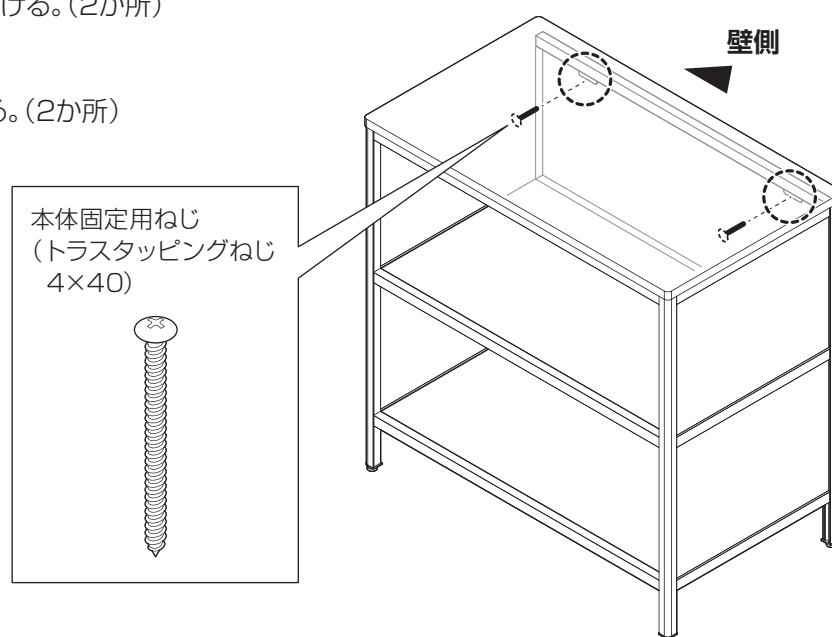


- ② 棚板を本体にねじ固定する。(上段・下段 各2か所)



7 本体固定

- ① 壁面に印をつけ、下穴をあける。(2か所)
(推奨下穴寸法: $\phi 3\text{mm}$)
- ② 本体を壁面にねじ固定する。(2か所)



W1670カウンター

※本文中の図は「右オープン・左棚」です。「左オープン・右棚」は本図と対称になります。

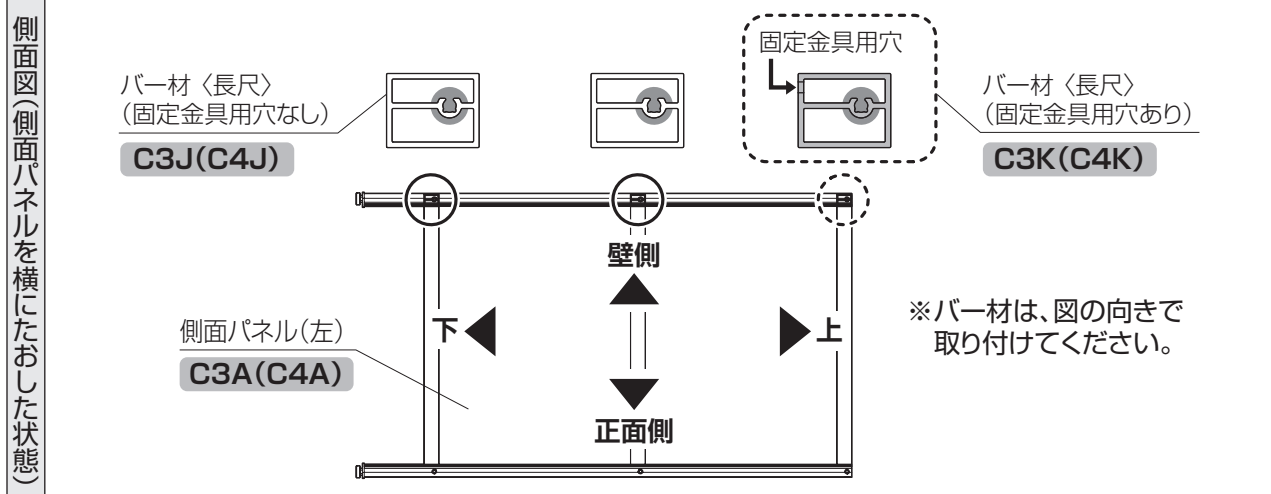
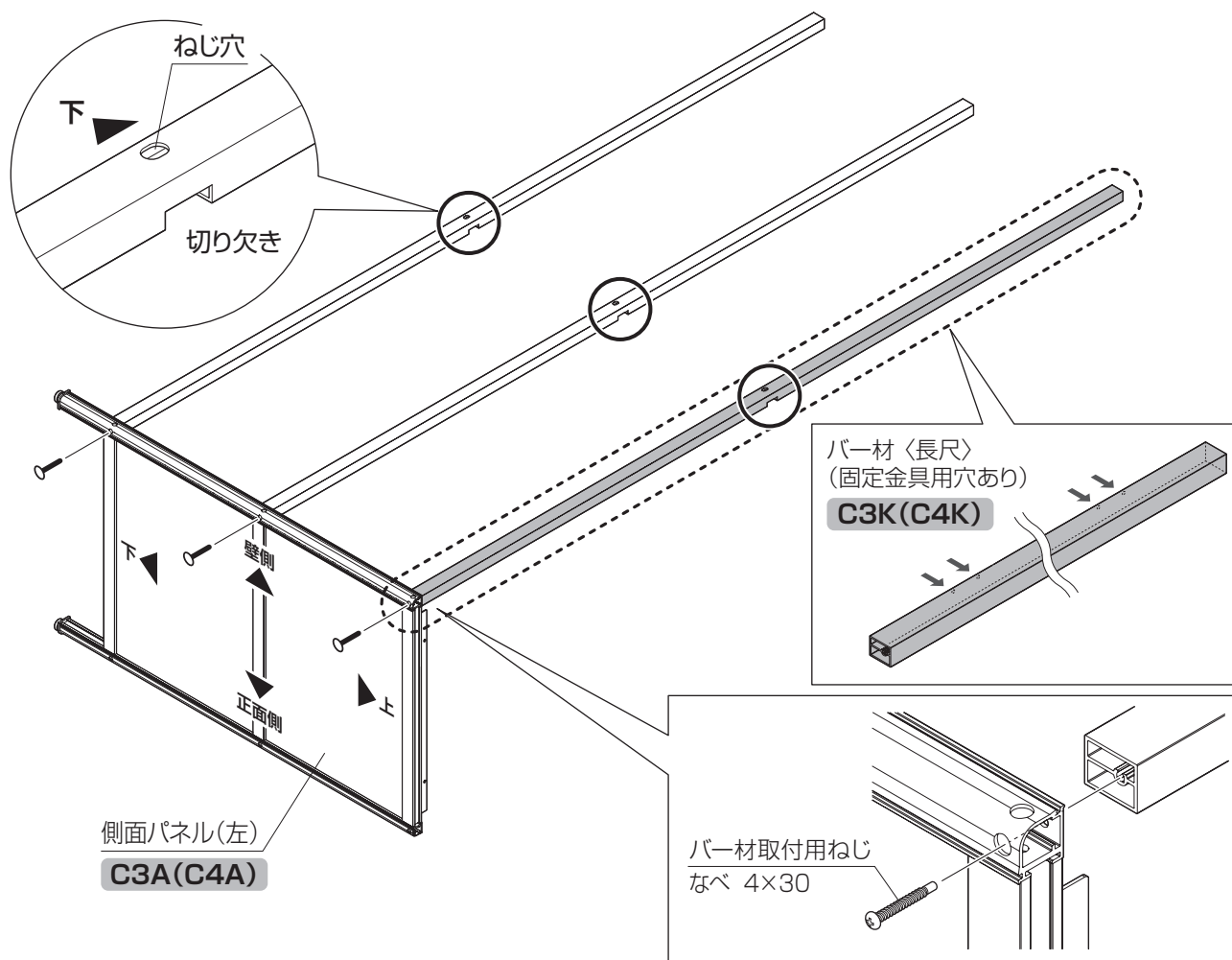
※ () 内の記号は、「左オープン・右棚」の場合を示します。

1 側面パネルとバー材の組み立て

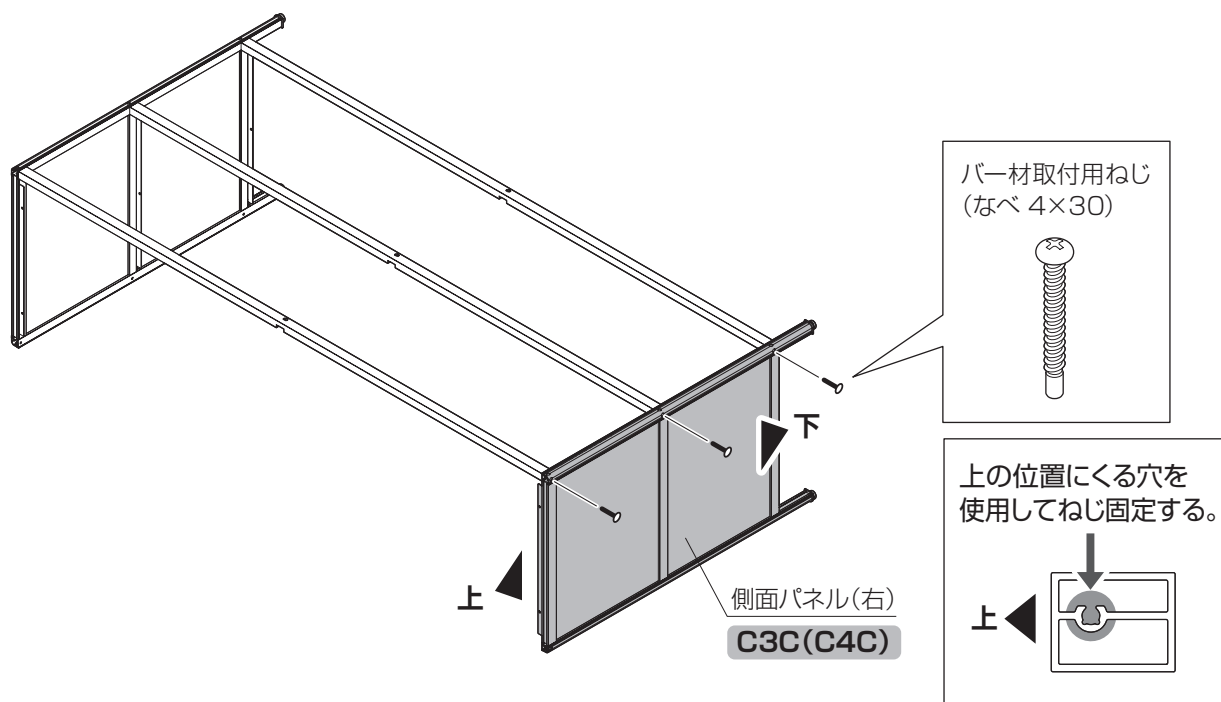
- ① 側面パネル(左) **C3A(C4A)** の壁側にバー材〈長尺〉(固定金具用穴あり) 1本 **C3K(C4K)** とバー材〈長尺〉(固定金具用穴なし) 2本 **C3J(C4J)** を取り付ける。

お願い

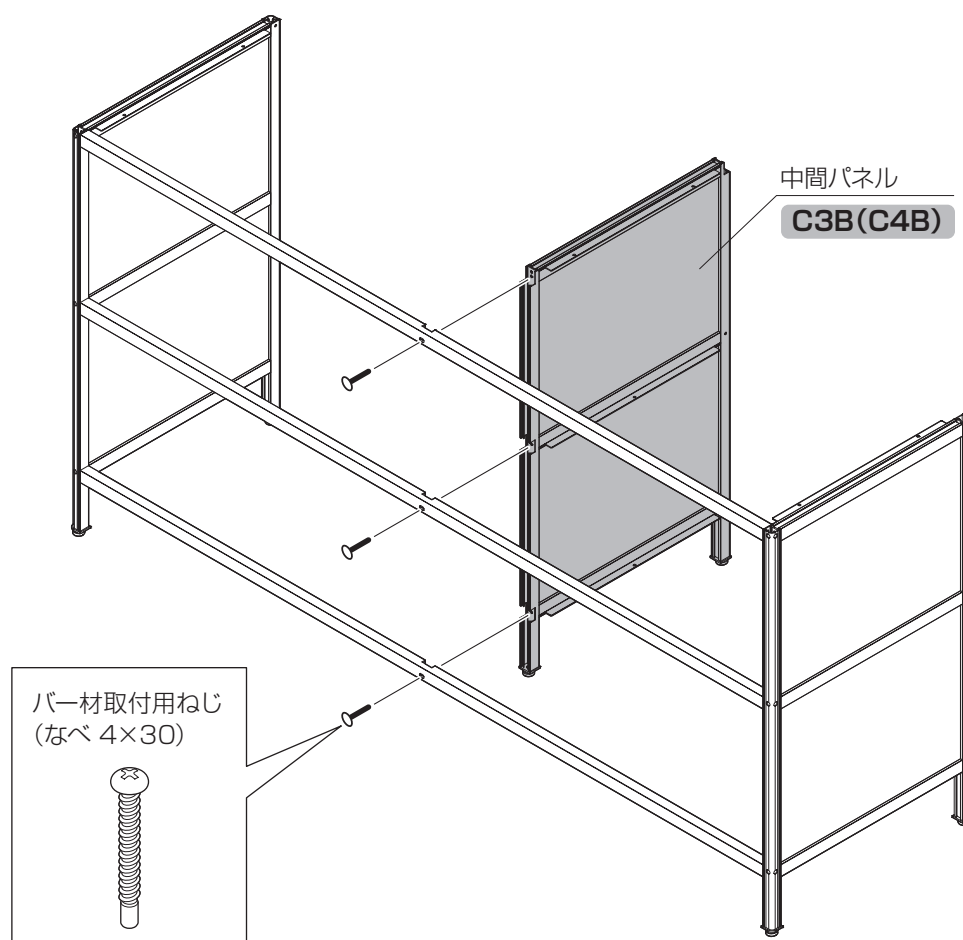
- 固定金具用の穴があいているバー材 **C3K(C4K)** は取り付ける位置が決まっています。下図を参照して取り付けてください。
- バー材は切り欠きが内側に、なおかつねじ穴が下の位置にくるように取り付けてください。(下図参照)



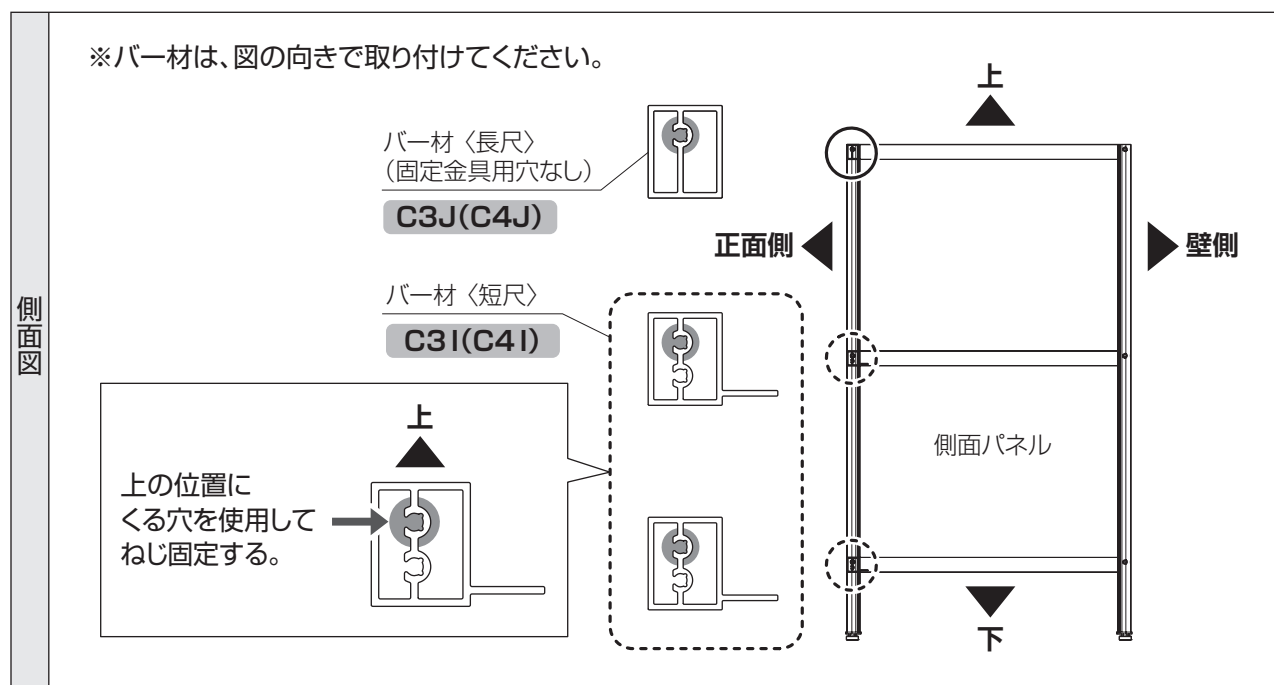
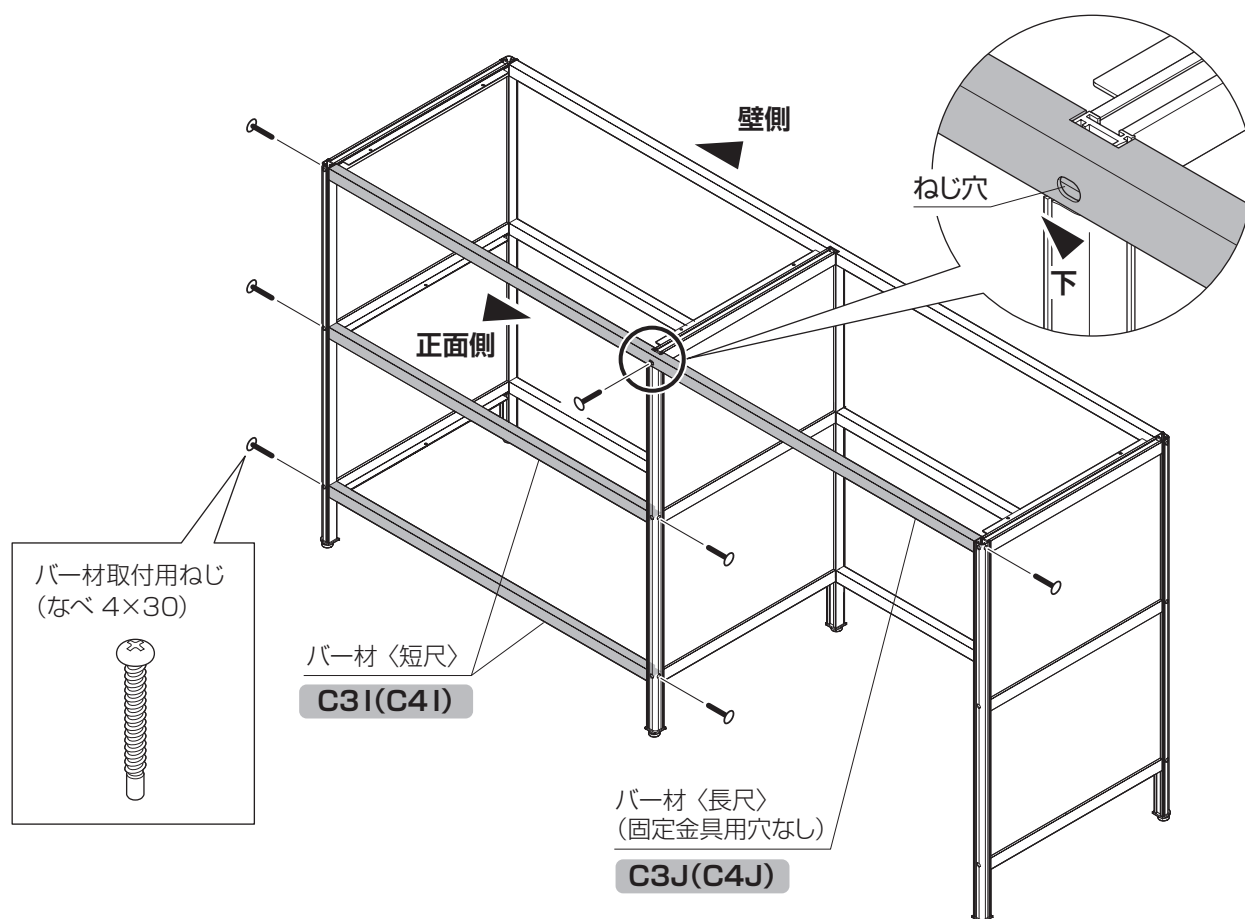
② 反対側の側面パネル(右) **C3C(C4C)** をバー材〈長尺〉に取り付ける。(3か所)



③ 中間パネル **C3B(C4B)** をバー材〈長尺〉に取り付ける。(3か所)



- ④ 本体正面側にバー材〈長尺〉1本 **C3J(C4J)** とバー材〈短尺〉2本 **C3I(C4I)** を取り付ける。

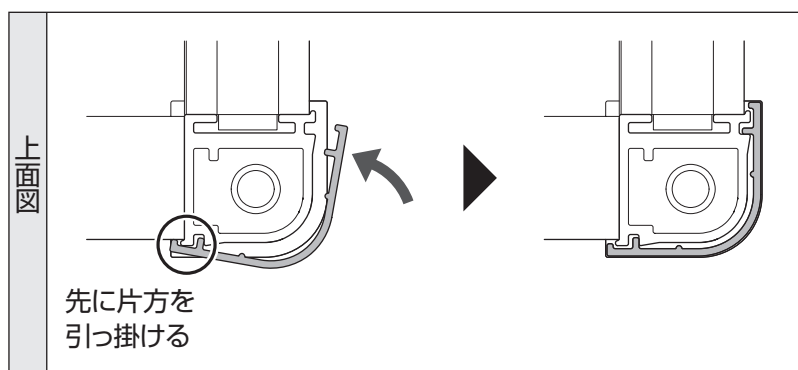
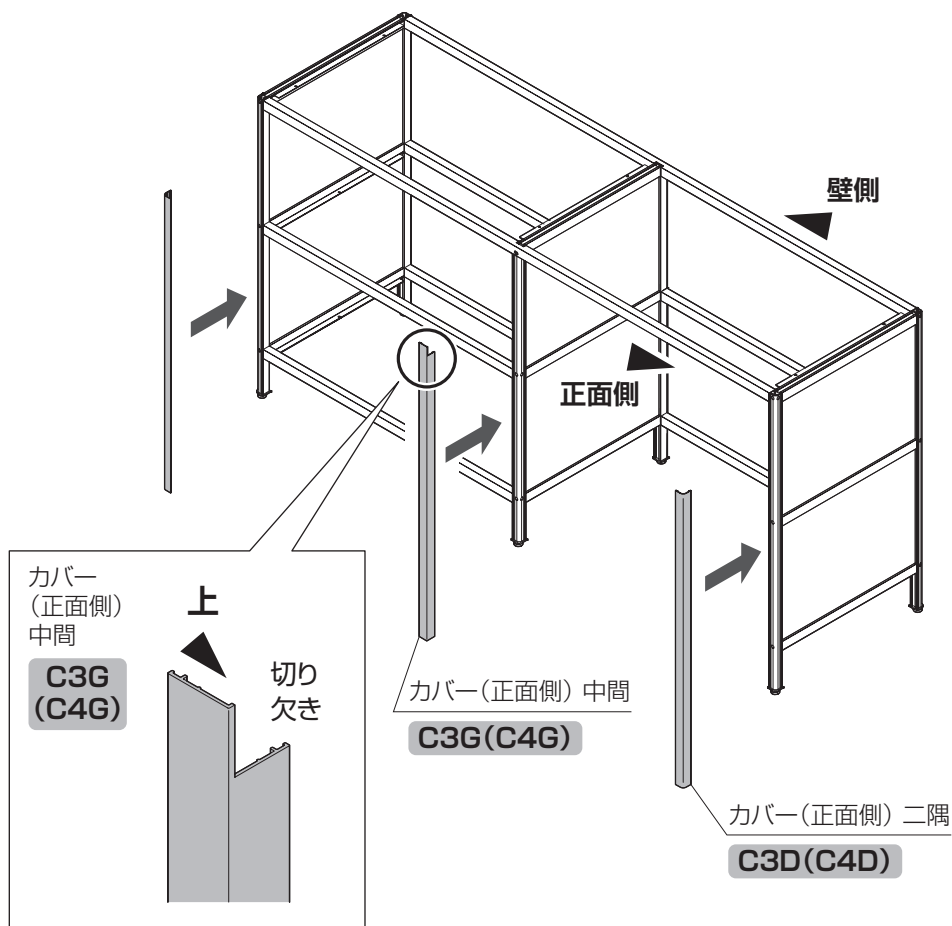


2 カバーの取り付け

① 本体正面側の二隅と中間にカバーを取り付ける。(3か所)

お願い

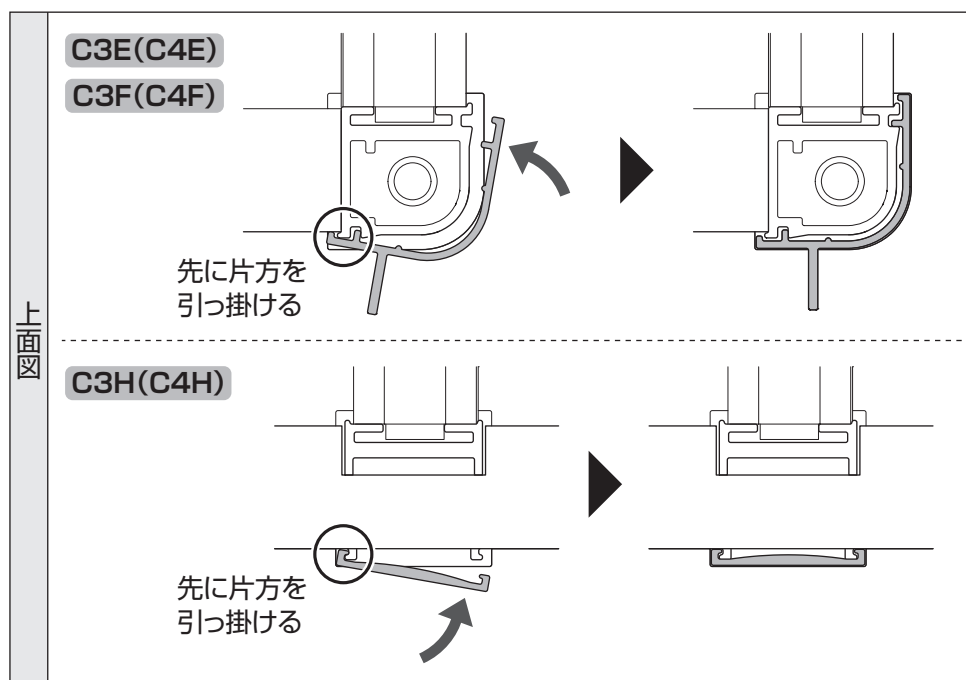
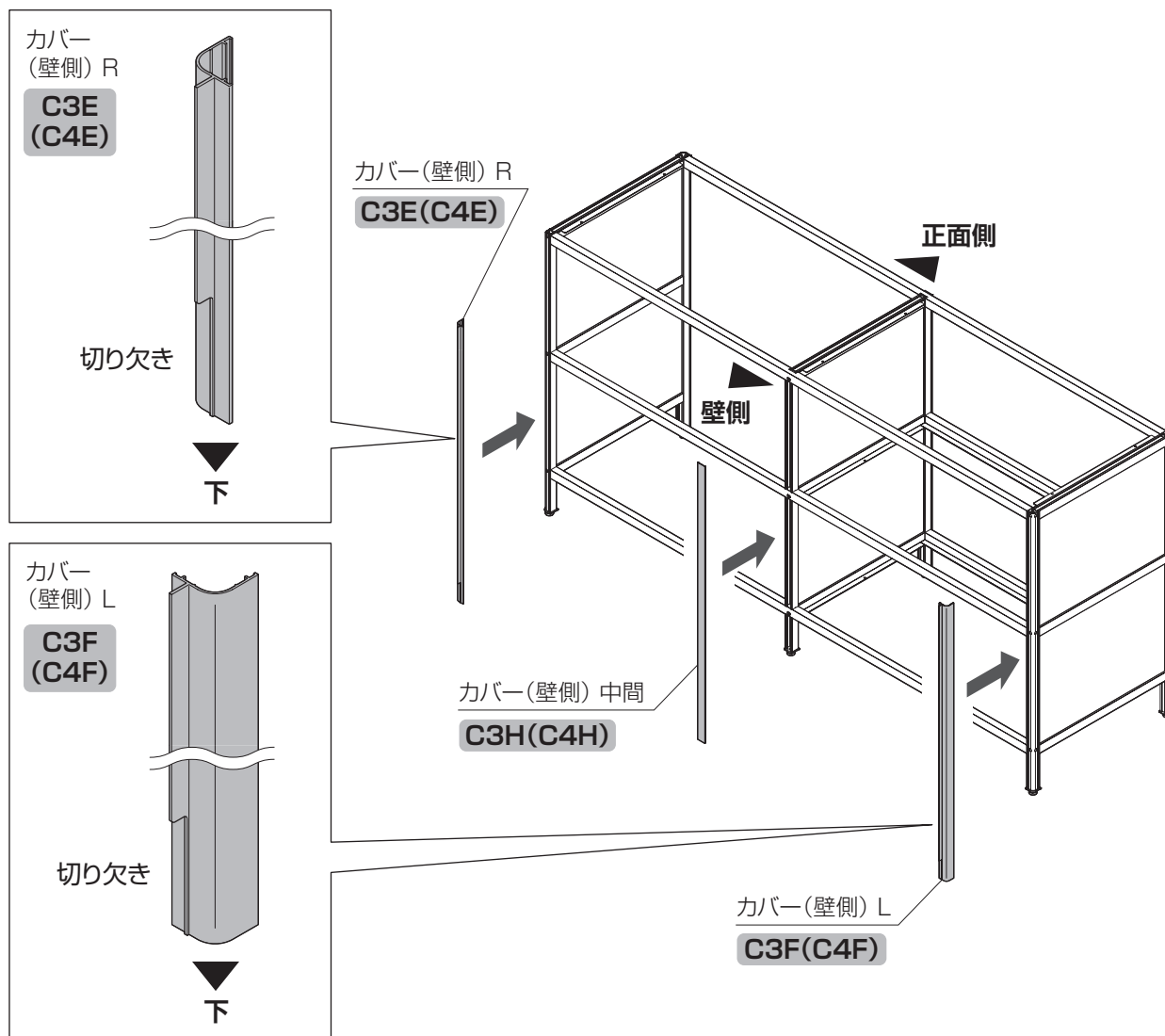
- 正面側の二隅にはカバー **C3D(C4D)** を、中間にはカバー **C3G(C4G)** を取り付けてください。
- 中間に取り付けるカバー **C3G(C4G)** は、切り欠きのある方を上にして取り付けてください。



② 本体壁側の二隅と中間にカバーを取り付ける。(3か所)

お願い

- 壁側の二隅に取り付けるカバーにはL・Rがあります。
- カバー(壁側) L **C3F(C4F)** ・カバー(壁側) R **C3E(C4E)** は、切り欠きのある方を下にして取り付けてください。

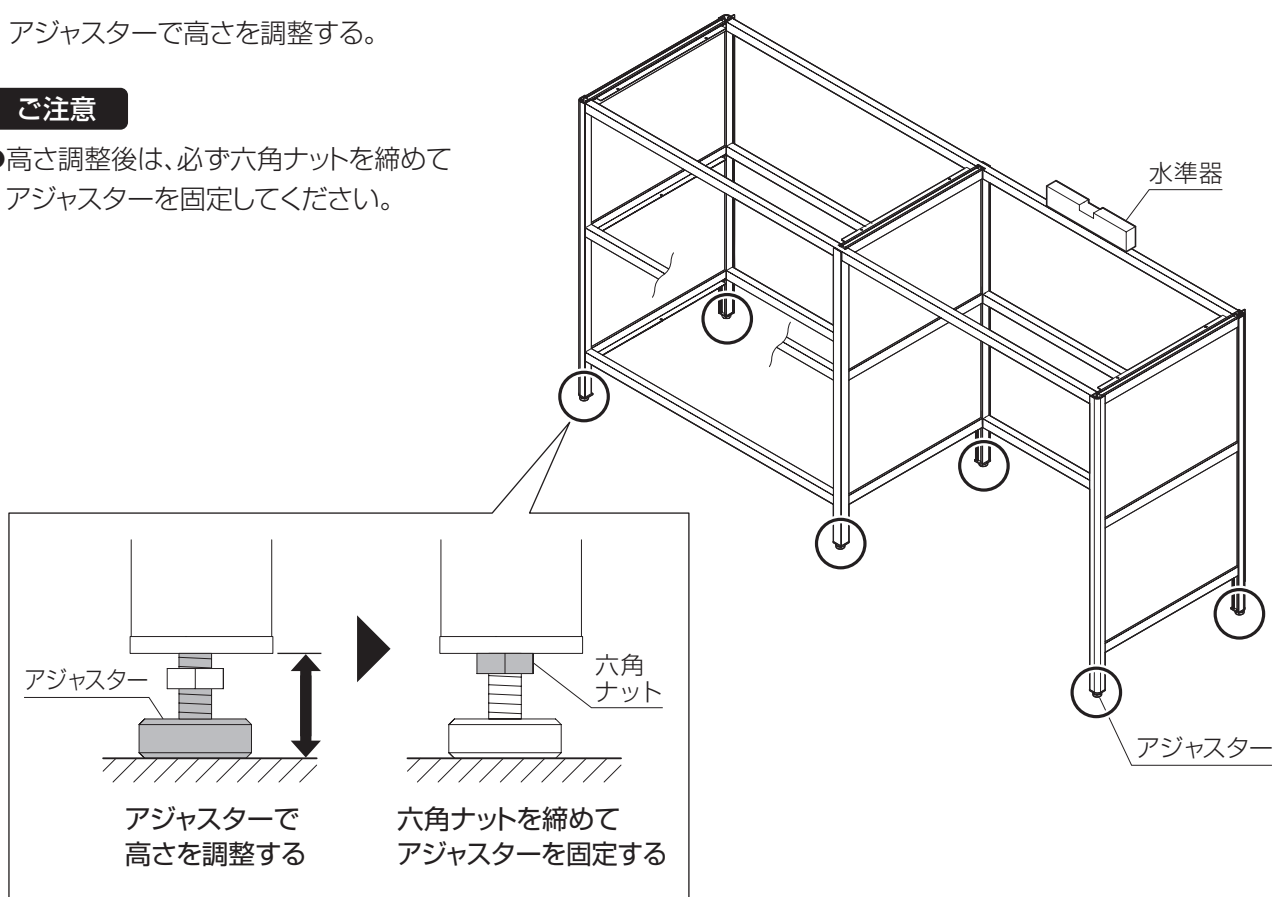


3 アジャスター高さ調整

① アジャスターで高さを調整する。

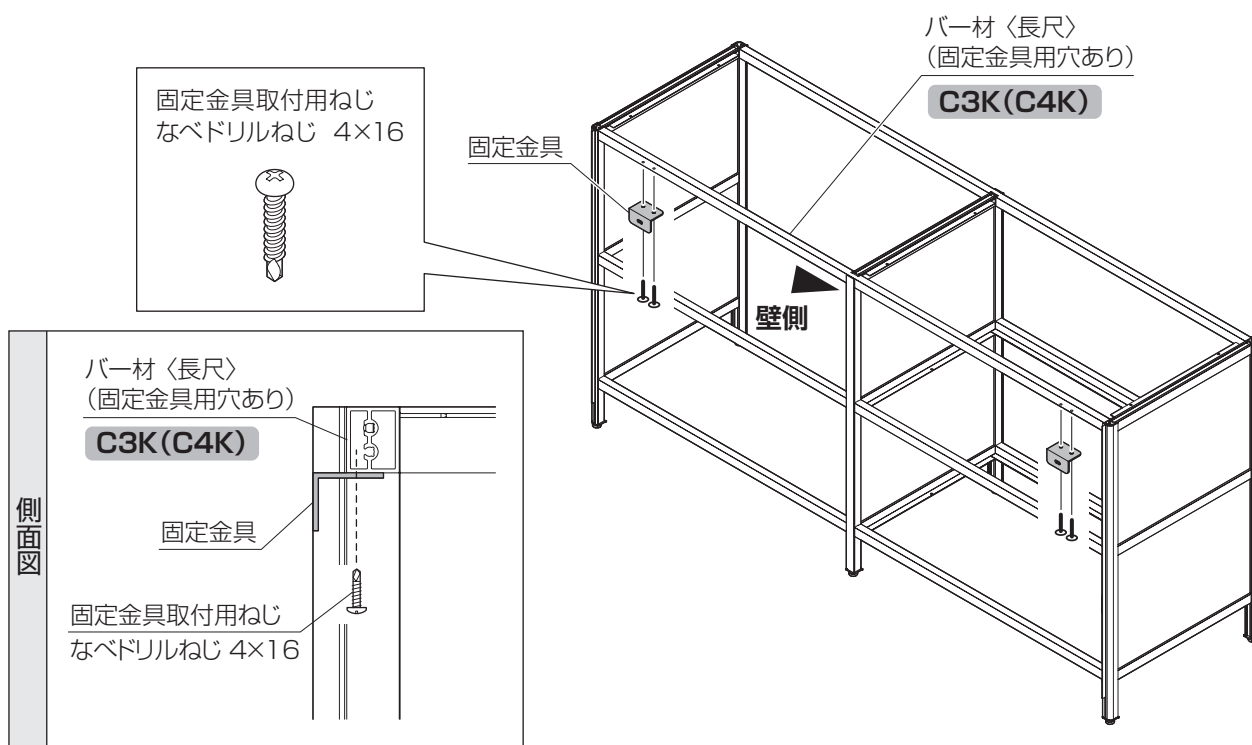
ご注意

- 高さ調整後は、必ず六角ナットを締めてアジャスターを固定してください。



4 固定金具の取り付け

① バー材〈長尺〉(固定金具用穴あり) **C3K(C4K)** に固定金具を取り付ける。(2か所)



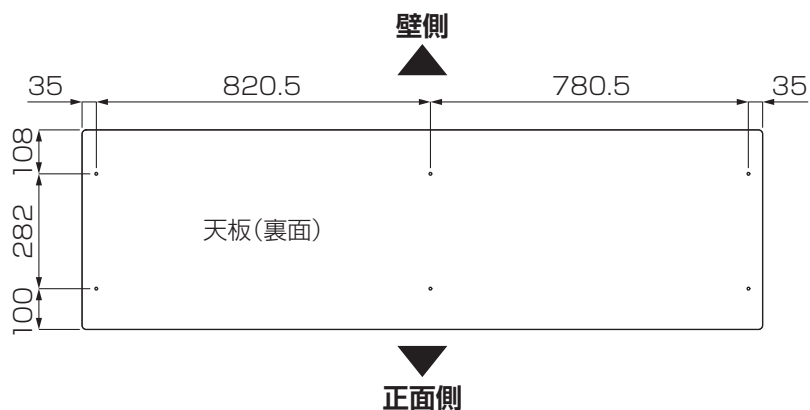
5 天板の取り付け

- ① 天板の裏面に下穴をあける。(6か所)
(推奨下穴寸法: $\phi 3.5\text{mm}$)

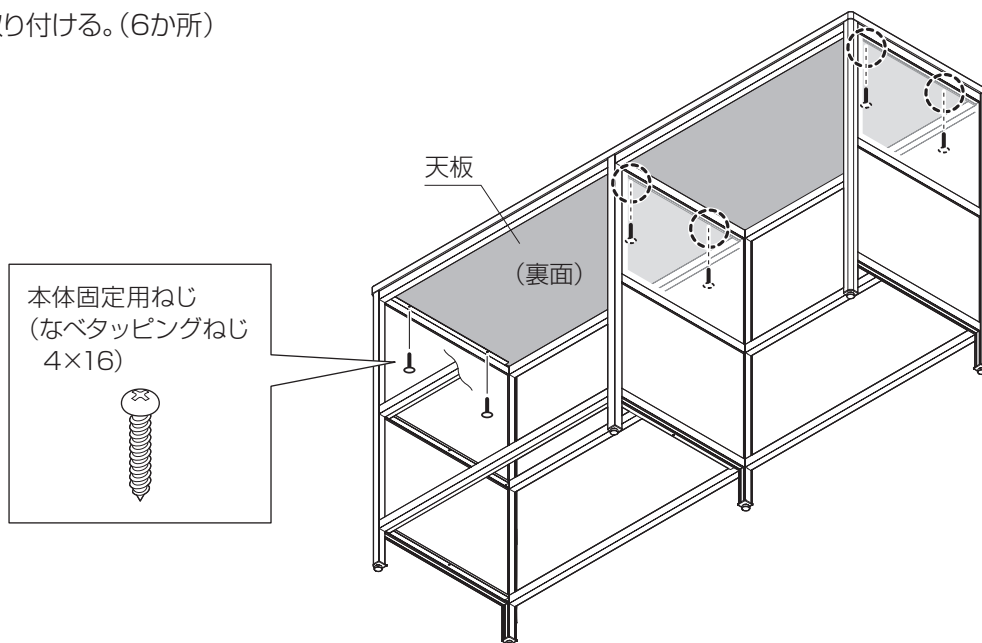
ご注意

- 天板を貫通させないように注意してください。(推奨下穴深さ: 10mm)

※右図は、「右オープン・左棚」の場合です。
「左オープン・右棚」の下穴位置は、
本図と左右対称となります。



- ② 天板を本体に取り付ける。(6か所)

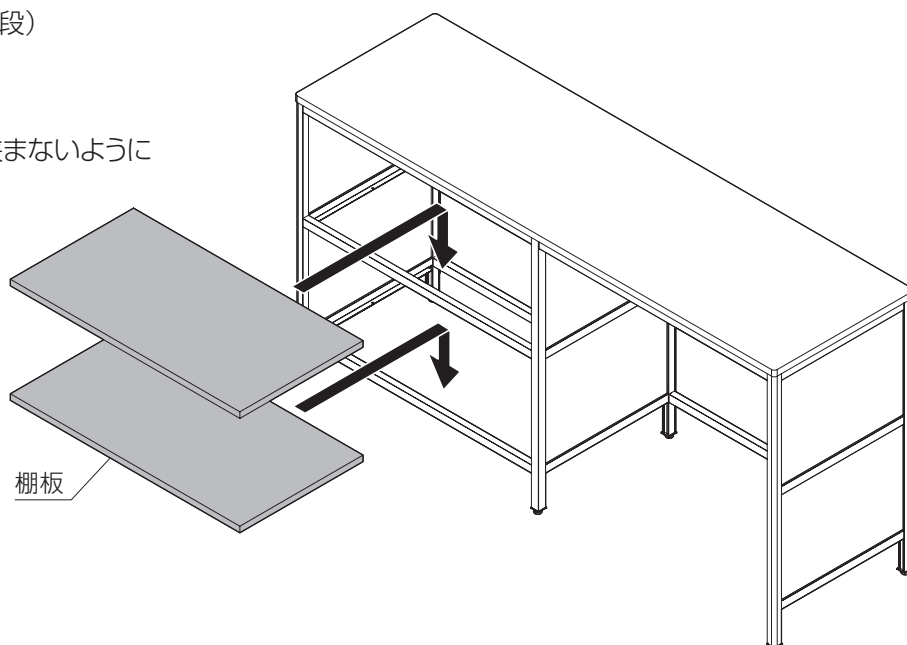


6 棚板の取り付け

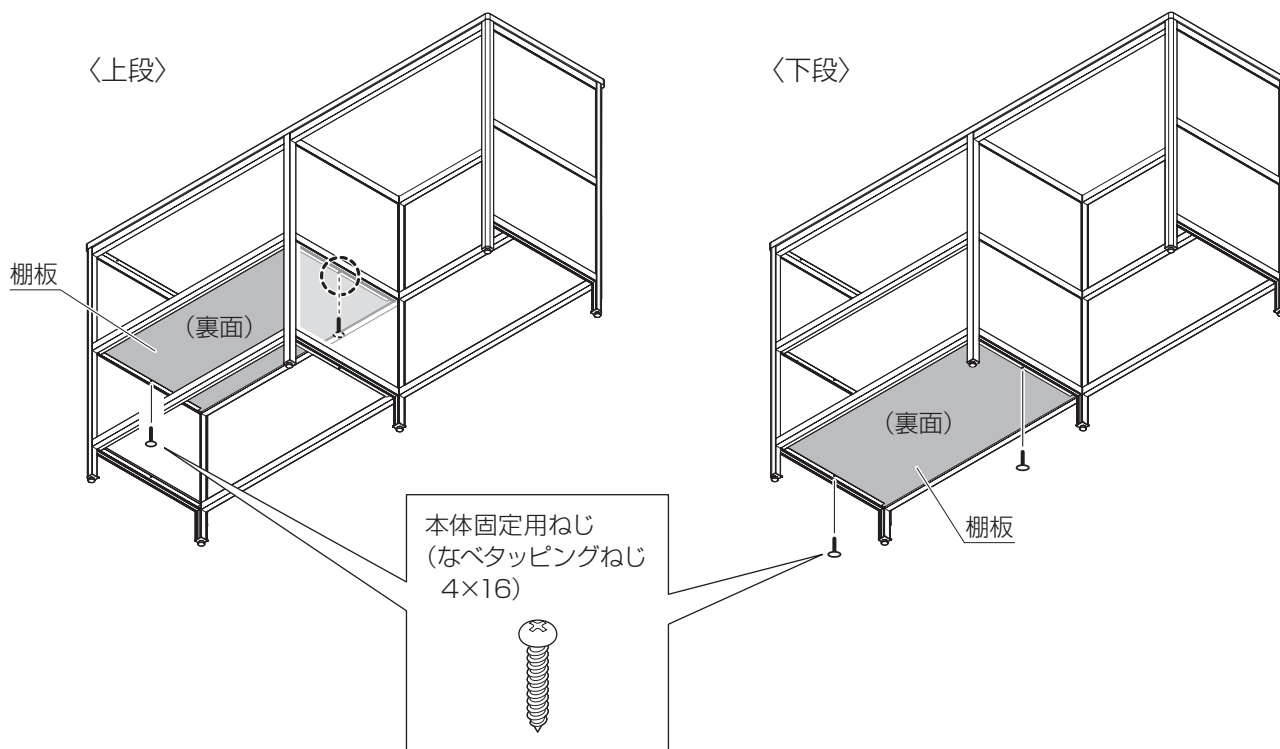
- ① 棚板をはめ込む。(上段・下段)

ご注意

- 棚板をはめ込む際に、指を挟まないように注意してください。

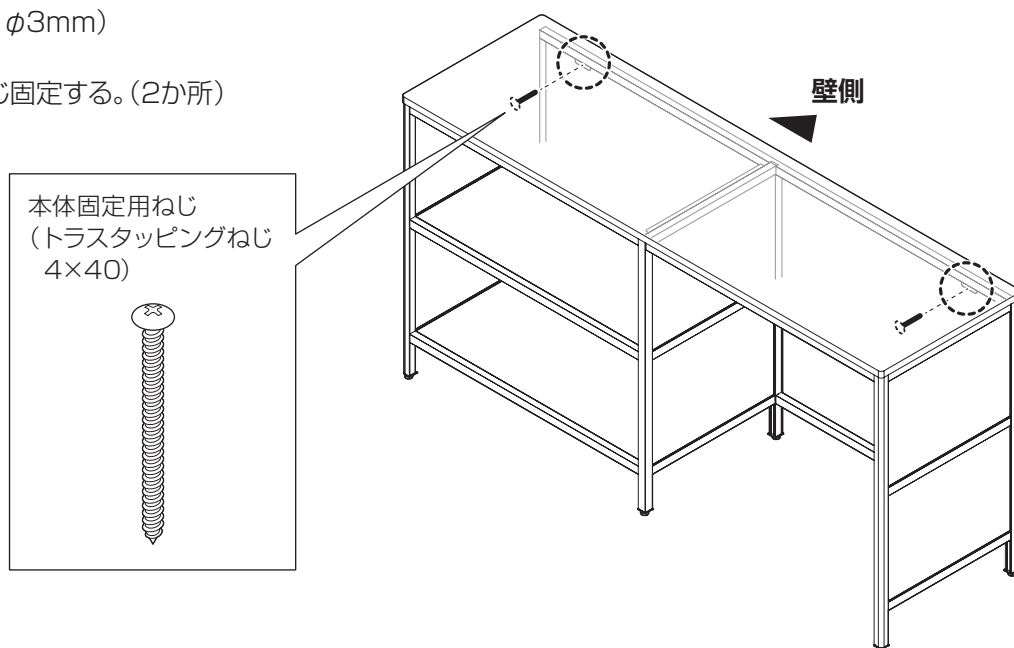


- ② 棚板を本体にねじ固定する。(上段・下段 各2か所)



7 本体固定

- ① 壁面に印をつけ、下穴をあける。(2か所)
(推奨下穴寸法: $\phi 3\text{mm}$)
- ② 本体を壁面にねじ固定する。(2か所)



取扱説明編

取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくための注意事項やお手入れ方法などを記載しています。
説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお読みになってからお使いください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容



注意

傷害や財産損害が発生するおそれがある内容

お守りいただく内容を次の図記号で説明



してはいけない内容



実行しなければならない内容

警告



設置後、無理な衝撃や荷重は与えない

破損や変形のおそれがあります。
(天板の耐荷重：40kg
棚板1段あたりの耐荷重：20kg)



ぶらさがる、足をかけるなど無理な力や衝撃を与えない

けがや破損のおそれがあります。



天板や棚板に乗らない

けがや破損のおそれがあります。



下にもぐりこまない

けがや破損のおそれがあります。



天板にドライヤーの熱を直接あてたり、アイロンなどを高温状態で直接置かない

変色や変形の原因となります。



暖房器具やたばこ・マッチなどの火気を近づけない

変色や変形の原因となります。



直射日光やスポット照明などを当てない

変色や変形の原因となります。



製品のすき間に、頭や手を入れない

小さなお子様であれば、頭などが挟まるおそれがあり、重大な事故につながります。



事故防止のため施工は必ず専門業者がおこなう

本製品の施工には専門知識が必要です。誤った方法で施工すると重大な事故を招くおそれがあります。



施工した製品が緩んだり、がたついたときは、直ちに使用を中止し、専門業者に修理を依頼する

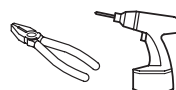
そのまま使用すると、事故や損害を招くおそれがあります。

注意



お客様による修理・改造・分解はしない

予期せぬ事故や損害を招くおそれがあります。



製品を鋭利なもので突いたり、硬いものでこすったり、衝撃を与えたりしない

破損や傷、変形などの原因となります。



製品先端部には注意する

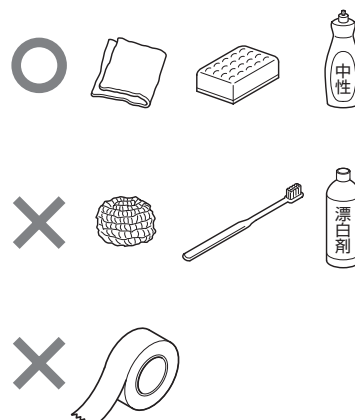
衣服や手に引っかかると、けがや服の破けの原因になります。

お手入れ

長期間清掃せず放置すると、表面に付着した汚れが腐食やシミ、塗装剥がれの原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

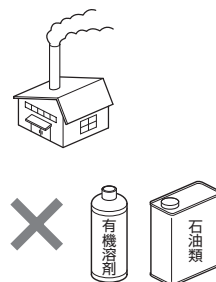
お手入れ方法

- お手入れは、柔らかい布など、製品に傷つかないものを使用し、水洗いで落としてください。
たわしなどでこすると、表面に傷がつき、腐食のもとになりますので使用しないでください。
また、水洗いでとれない場合は、薄めた中性洗剤につけた布を固く絞ってふいた後、から拭きして水分が残らないようご注意ください。
- 漂白剤、硫酸、塩酸などは絶対に使用しないでください。
変色や光沢が無くなるおそれがあります。
- 塗装面にセロテープ、ガムテープを貼らないでください。
剥がした後、汚れが残るおそれがあります。
- 洗剤、毛染剤、化粧品、除光液などはすぐにふき取ってください。
変色や変形するおそれがあります。



お手入れの注意点

- 拭き掃除などのお手入れは、定期的に行ってください。
- ひどい汚れを落とす場合でも、研磨剤や研磨剤入りスポンジ、有機溶剤、または石油類などを使用しないでください。変色、劣化の原因になることがあります。



リノリウムの注意点・お手入れ

- 毎日のお手入れ
きれいな乾いた布でふくか、固く絞ったぬれ雑巾でふいた後、すぐに乾いた布でふいてください。
- 汚れた場合のお手入れ
特に汚れている部分は、薄めた石けん水か希釈した中性洗剤にタオルをひたし固く絞って汚れをふき取ってください。
汚れを落とした後は、乾いたきれいな布にてふき上げてください。
シミはアルコールを使用し除去することができますが、少しずつ慎重におこなってください。
アルコールは可燃性ですので、取り扱いに注意し換気をしてください。
- 大規模なお手入れ
 1. 水に薄めた中性洗剤をファニチャーリノリウム全体にぬらしてください。
 2. 表面を湿らしたまま約5分放置し、その後、家庭用メラミンスポンジなどで表面を洗浄してください。
 3. 水きりべらにて表面の汚水を除去し、残りの汚水を乾いた布でふき取ります
(目地や木口などから水分が裏に回らないよう注意してください)。
 4. 水をつけたメラミンスポンジで表面をやさしくなで、残った汚水を完全に除去してください。
 5. もう一度水きりべらを用いて汚水を取り除き、残った汚水を乾いた布でふき取り、完全に乾燥させてください。

製品保証書

本書は、当社の製品に関し、ここに記載の保証期間・保証内容の範囲において無償で修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お求めの取扱い店、または当社窓口にご相談ください。

●保証期間

通常的环境下において、製品の施工完了日から起算して1年間とします。

●保証内容

取扱説明書、またはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無償で修理いたします。

●免責事項（保証期間内でも、次の様な場合には、有償での修理となります。）

- ①当社の指示のない第三者の加工、組み立て、施工（基礎工事、取り付け工事など）、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、「十分な強度の下地に適切な施工が行われていない」、「台所用合成洗剤（液性：中性）以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食」、「工事中の養生不良に起因する変色や腐食」、「現場加工などによる納まり、仕上げの不備」など）
- ②表示された製品の性能を超えた、性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する、製品の不具合
- ④製品の経年劣化（変質、変色など）、またはこれらに伴うサビ・カビ、またはその他の不具合
- ⑤製品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食、またはその他の不具合（例えば、「塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食」、「異常な高温・低温・多湿による、膨張・ひび割れ・伸縮・ねじれ」などの不具合）
- ⑥製品、または部品の材料特性に伴う現象（例えば、塗装工程での若干の色ムラや柄のバラつきなど）
- ⑦天災、その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災などによる不具合、またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合）
- ⑧実用化されている技術では、予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
- ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物、またはつるや根などの植物に起因する不具合・虫害
- ⑩引き渡し後の調整不備や適切な維持管理を行わなかった場合、および引き渡し後の移動・移設による損傷、または故意による不具合
- ⑪お客様もしくは、第三者の故意、過失、不当な組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取り外しを含む）に起因する不具合
- ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬犯罪などの不法な行為に起因する、破損や不具合
- ⑭製品の構成部材の一部でも、当社が供給した以外のモノによる不具合
- ⑮施工記録表の提出がない場合、または施工記録表に記入漏れや虚偽の記載がある場合
- ⑯製品の汚れやサビ・カビなど、通常のお手入れ不足による不具合
- ⑰凍結による故障および損傷
- ⑱仕上げキズなどで引き渡し時にお申し出が無かったもの
- ⑲離島または離島に準ずる遠隔地への出張を行う場合の出張に要する実費

*保証期間経過後の修理、交換などは有償での対応といたします。

*修理、交換などのアフターメンテナンスに関しては、ご購入された販売店様、または当社窓口までお問い合わせください。

*この「製品保証について」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社窓口までお問い合わせください。

*当保証は日本国内に適用されるものとしますが、日本国外に納品されたものについては、適用されないものとします。

施工記録表（保守のための記録）

製品名	電話番号
工事名	設置年月日
工事店名	納品台数

お問い合わせ先

アルメタックス株式会社

〒531-6130

大阪市北区大淀中1丁目1番30号

梅田スカイビルタワーウエスト30階

<https://almetaxstore.com/pages/contact-us>

日本国内に適用されるものとしますが、日本国外に納品されたものについては適用されないものとします。



関連商品はアルメタックスストアより

<https://almetaxstore.com/>

